

# 画像解析AIを活用した 安全性向上実証実験

---

～結果報告～

令和7年3月

福岡市交通局 安全推進課

## • AIを活用した実証実験の目的

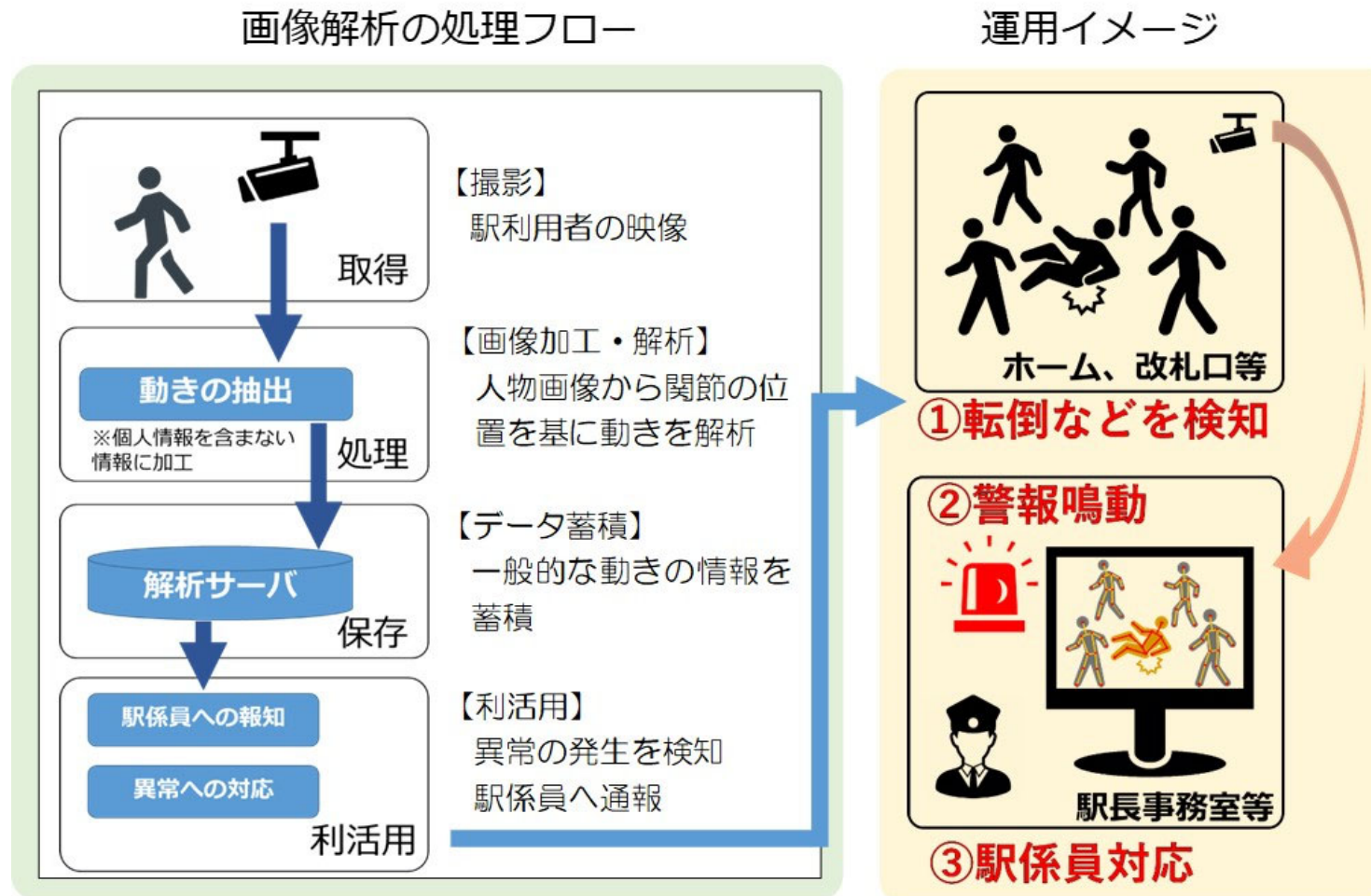
画像解析AI技術の活用することで駅構内の異常を早期に検知することが可能となるのか検証を行い、より安全で安心して地下鉄をご利用いただける環境整備を目指していくもの。

## • 実証実験概要

駅内に計10台のカメラを設置し、カメラの映像を画像解析AIによる解析を行う。解析の結果、異常事象が検知された場合は、端末で警報が鳴動し、必要に応じて駅係員による対応を行う。

一般的にはAIの解析には高さ3～5mの高さにカメラを設置するとよいとされているが、地下空間の天井の低い環境においても画像解析が正常に機能するか、あらかじめ想定した通りの事象を画像解析により検知できるか、確認を行い、検知の精度を検証する。

## 画像解析と運用について



画像解析では、人の動きを基にした個人を特定しない手法を採用

- 実施期間、場所

令和6年9月1日～令和7年2月28日（6カ月間）

空港線博多駅 駅構内

- カメラ設置位置

改札口付近：6台      ホーム：4台

- 検証結果

駅構内の天井高は2.5m程度と最適な設置高さよりも低いが、AIの活用により駅内の異常を駅係員がいち早く気付き対応が可能であることが確認できた。

駅構内での異常の検知については、予兆となる行動の検知はできなかったものの、ふらつきや違和感等の動きや、車いすや白杖などの介助を必要とされる方の検知ができた。